



7月27日は土用の丑の日です

夏になると、土用の丑の日には店頭で鰻が並びます。そもそも「土用」とは、立夏、立秋、立冬、立春直前の約18日間を示します。昔の暦では、日にちを十二支で数えていたので土用の期間に訪れる「丑の日」を「土用の丑の日」といいます。ですから、夏のイメージが強いかもしれませんが実は季節の変わり目に、それぞれあるのです。鰻を食べる様になったのは諸説ある様で、「う」の付く食べ物を食べると良い。夏が旬ではない鰻の売れ行きが良くなるように鰻屋が「本日土用丑の日」と看板に掲げると大繁盛したことから。などといわれているそうです。鰻は厳しい暑さを乗り切るには最適な栄養価があります。鰻を食べて、暑さに負けない身体づくりをしましょう。



「アトピー性皮膚炎に対する鍼灸の効果」



5月26日(日)静岡県鍼灸学術研修会の講演で、明治国際鍼灸大学の江川雅人先生による「アトピー性皮膚炎に対する鍼灸治療」を聞いてきました。

日本人には比較的多く、よく耳にする疾患です。

主訴は、とにかく皮膚が痒いんです。痒みも痛みと双壁をなすくらい辛い感覚です。西洋医学的な治療法としては、①スキンケア②ステロイド薬③タクロリムス外用薬(免疫抑制剤)④抗アレルギー薬です。

東洋医学(鍼灸治療)では、患者様の身体全体を診て治療を進めていきます。アトピー性皮膚炎の方々は、痒みだけではなく肩こり、四肢の冷え、過食、イライラ、便秘、易疲労、不眠等の痒みに随伴する症状を持っていることが多いそうです。これら随伴する症状も含めて施術することでアトピー性皮膚炎の症状が緩解していきます。皮膚炎の症状を鎮静化するためには全身症状の改善が不可欠になります。また、驚くことに鍼灸施術を続けることでアレルギーを引き起こす原因IgE抗体の数字も減っていくそうです(根治につながる!)

江川先生の治療成績では、患者様個々の状態にもよりますが、週1回の鍼灸施術を10~120回以上続けることで痒みと皮膚の状態に明らかな緩解が見られたとのことでした。

アトピー性皮膚炎に鍼灸という選択肢があるということを知っていただければと思います。

太田 一郎

—お知らせ—

◇前田先生◇

国体予選に選手帯同の為、**7月6日(土)を休診**とさせていただきます。
よろしくお願い致します。



【7月休診日】

7日、14日
15日(海の日)
21日、28日



太田 一郎 (おおた いちろう)

出身地: 大阪府

はり・灸・あん摩・マッサージ指圧師

